

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170401806		
法人名	(株) ウェルネスヒューマンケア		
事業所名	グループホームウェルネス こすもす 1階		
所在地	札幌市手稲区新発寒6条9丁目4-3		
自己評価作成日	平成22年2月28日	評価結果市町村受理日	平成22年7月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<入居者様、ご家族様に対して>
 施設的にならず、ご家族との縁を断ち切らないよう情報を共有し一緒に支えていく。
 <スタッフに対して>
 人間性を重視して採用して、就業後はスキルアップのために研修等に積極的に参加させている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170401806&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3番地北1条ビル3階
訪問調査日	平成22年6月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

温もりある自然木を随所に取り入れたホームは、自然豊かな川や公園が点在している閑静な住宅街に位置しています。家族の訪問も多くホームの行事に多くの方の参加をいただき、明るく広々とした住環境の中で、利用者はゆったりと暮らしています。町内会からは災害時での協力は人道上当然の事と十分な理解をいただいています。ホーム内や地域の方々と人間関係も良好で、利用者の人格を尊重し、地域に根ざした生活を支援するとの理念に沿って職員は自己研鑽に励み、ホームの質の向上を目指しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		取り組みの成果 ↓該当するものに○印			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価			外部評価		
			実施状況			次のステップに向けて期待したい内容		
I. 理念に基づく運営								
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	定期的な学習会などを行い、理解に努めている	自立支援を掲げた運営理念に加え、利用者本位の介護理念を職員全員で作成し、実践に繋げているかどうかを確認し合い、日々のケアサービスに努めています。				
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会の新年会や地域行事に入居者様と一緒に参加している	町内や地域の新年会、夏祭り、文化祭等行事への参加、園児や近所の子供との触れあい、ボランティアや見学者受け入れなどで、近隣の方々との交流を深めています。				
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会行事に入居者と職員が参加をして職員の支援方法を実際に見ていただくことと、運営推進会議後に参加委員より相談等を受けている					
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	総務部長、管理者、副ホーム長が出席している	年に6回の開催日を設定し、柔軟なメンバー構成の下、近況報告、自己・外部評価の公表、防災体制等が討議され、ホームへの理解や質の向上に繋がっています。				
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	苦情等について札幌市担当係長と面談し事業所の方針を伝えると同時に指導も受けている	行政担当者とは管理者会議で情報交換や運営に関する助言をいただき、課題が生じた場合は話し合いの機会を持ち、改善に向けての取り組みに努めています。				
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な学習会を行っている	職員全員が身体拘束の弊害を十分に理解し、ケアサービスに取り組んでいます。年に一回の学習会で認識を新たにしていきます。玄関やユニット間はセンサーや施錠もなく、利用者は職員の見守りの下、自由に外出を楽しんでいます。	身体拘束に関わる具体的な行為の理解を深め、さらに機会を捉えての認識により周知徹底を図る取り組みに期待します。			
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な学習会で学んでいる					

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者だけでなく副ホーム長をはじめスタッフも学習会等に参加し学んでいきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者だけでなく副ホーム長をはじめスタッフも学習会等に参加し学んでいきたい		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情に関しては総務部長と管理者が対応し報告する事で統一し、迅速に対応している	利用者や家族の意見・要望の把握に努めています。課題は職員全員で検討を重ね、内容を記録し運営に反映させています。内・外の相談窓口も案内しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	半年に1回総務部部長と管理者が職員と面談を行っている。また、月1回のユニット会議で意見交換をしている	日頃から職員とコミュニケーションを図り、面談や会議で意見や要望を把握し、運営に反映する体制を整えています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回総務部長と管理者3名で面談をし自己目標実現に向けての話し合いと、職場環境についての要望等を話し合っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の参加、ホーム内での学習会を毎月行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は交流をしていますが、今後事業所の見学から開始する予定である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体調の変化、日常生活にたいしての希望を聴きケアプランに取り入れている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご来訪時にご家族からの要望、困った事不安な事を傾聴し記録開示し、お便りで近況を報告をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族を含めケアプランについて要望を伺いアセスメントを行いプランに活かしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一日の生活の中で、少しでもご本人が活躍できる場を設けている。食事、買い物洗濯、掃除など共に行っている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出や外泊などご家族の協力を頂き、かなりの頻度おこなっており、プランにも反映させている。手紙のやり取りやご来訪時にご一緒にホームの食事を食べて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様から情報収集を行い出来ること、出来ない事、得意な事をプランに入れている。	馴染みの美容室や銭湯、神社への初詣、近隣の景勝地見学や親交ある方々との交流等の支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の席や、外出する際の組み合わせなど孤立しないよう支援し、スタッフが仲介を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	毎月ホームのお便りや個別のお便りをキーパーソンではない方にも、ご希望があれば郵送している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランに反映出来るよう半年に一度アンケートにお答え頂いている	思いや意向の把握は、会話や表情、個人記録や家族の意見を参考に、利用者の視点で捉えています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に馴染みの物を持って来て頂くようお願いしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態を把握しケアプランに組み入れ一ヶ月評価、三ヶ月に一度アセスメントをし見直しを行っている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスにご家族も参加して頂けるように取り組んでいきたい	利用者や家族の要望を把握し、介護計画作成後は短期、長期の見直しを行っています。評価は毎月行い、家族に報告の上、適切な介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎朝、その日一日の生活を支援するか目標を立て支援している。ケアプランについても毎月評価している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の希望があればホームで入居者様と一緒に食事などして頂いている。又は外食に出られる等がある		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練や幼稚園の交流を行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診に月2回来て頂いている	協力医療機関による月2回の往診や週1回の訪問看護師、利用以前のかかりつけ医の受診等により、健康管理は適切に図られています。診療内容は共有しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護に月2回来て頂いている。 6月より毎週になる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された病院の相談員と連携を取り早期退院に向け情報交換をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今後の課題としたい	ホームとしての指針を作成し、同意書をいただいています。看取りの受け入れは、職員の技術習得も含め、万全の方策を整えてからの検討を予定しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には、行っていないので今後の課題としたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会の方やご家族を交えた避難訓練を実施している	消防署の指導の下、地域や家族の方々の協力をいただき、昼夜想定での避難訓練を年2回実施しています。防災カーテンの取り付けや緊急連絡網を検討しています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	記録は全てイニシャル。情報公開するご家族は入居時に確認し、他の方には公開しない。	利用者の人格を把握し、一人ひとりの尊厳を尊重しています。個人記録も適切に管理しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望にはその都度応じているし、ご家族様も協力してくれている（ご家族様への電話）		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩に行きたそうに何度も玄関にいられたりする時は、止めず一緒にスタッフと協力しながら行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様に協力して頂き、化粧品を購入して頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立委員会を開き管理者を含め食事がマンネリ化しないように工夫し、外食なども積極的に取り入れている。	利用者の好みや希望を取り入れた献立を作成しています。利用者はスタッフの声かけ見守りの中で、各自が持っている力を発揮しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量はもちろん食事量のチェックを行い体調の変化に注意している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きの声掛けや介助。歯科衛生士による口腔ケアの指導、年一回の歯科検診を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は定期的なトイレ誘導を行い失敗しないように支援している。	職員は利用者の排泄パターンを把握し、言葉かけによりトイレでの排泄や排泄の自立支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の補給、運動、腹部マッサージ、牛乳、ヨーグルト、繊維質の多い食事の提供をしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一番湯を希望される方、最後にゆっくり入りたい方など希望にそっている。	三方から介助ができる浴槽を設置し、週2～3回の入浴日を設定していますが、毎日入浴できる態勢の中、利用者の意向を尊重した入浴支援を行っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動的に生活して頂き、眠剤を出来るだけ服用しないよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各自の薬については、すぐ確認できるようファイルに入れてある。服薬のマニュアルに添って支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	業務日誌に記録を行い翌日の参考にし、全員が何らかの気分転換や楽しみごとに参加できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	2階のスタッフと協力し希望に応じ出掛けている。特に暖かい季節はかになり外出している。散歩は雨天以外毎日散歩を行っている。	ホーム周辺の散歩はもとより、毎月外出行事を計画し、時には利用者の希望によりドライブを楽しむなど、五感刺激に繋がる支援に努めています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所のスーパーが無くなり買い物の回数は減ったが、ご家族と外出する際買い物をして頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	FAXや電話などでその都度対応している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感が感じられるよう装飾などを工夫している	玄関や居間などの共有空間は採光や換気、温度に配慮しており清潔感に溢れています。季節の飾り物や、四季折々の外出行事の写真が彩りを添えています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの窓辺のベンチ、ベランダや庭にも椅子があり入居者様同士、過ごせるようになっている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	泊まりの部屋は特に用意はしていないが寝具の用意はあり居室に泊まって頂けるようになっている	居室は十分なスペースがあり、クローゼット、棚が設置され、日用品が納められています。利用者は馴染みの調度品に囲まれ、落ち着いた環境で過ごしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要以上の案内版は張っていない。その都度混乱があった場合、話し合い支援している		